

レジェール・リード

多彩なジャンルで活動する粟生田さんのレジェール活用法

ソプラノサックス用リード の柔らかない音も クラリネットには魅力!

クラリネットではヨーロピアンカットとソプラノサックス用シグネチャーの両方を使い、バスクラリネットではバスクラリネット用とテナーサックス用シグネチャーの両方を使い分けている粟生田さんのリードライフ。記事協賛：株式会社 グローバル

調子を崩したとき、リードという一番不安定な要素を取り除いて原因を探ろうとレジェールを使い出した。

——いつ頃からレジェールを？

粟生田 10年ほど前からです。

——何かきっかけがあったんですか？

粟生田 調子を崩してしまい、その原因がマウスピースやリードにあるのか、自分にあるのか、分からなくなってしまうんです。そこで考えたら、リードというのは一番不安定な要素なので、まずはリードを安定させたい。それでレジェールを何枚か購入し、リハビリ的に使い始めたのが最初でした。

——レジェールは変化しないからと？

粟生田 ええ、ケーンよりは変化がずっと少ない。ケーンのリードはすぐに変化しますから、そうした要因を無くして行けば、原因が絞れてくると思うんです。

——レジェールはすぐに吹けましたか？

粟生田 リードの口当たりがケーンとは多少違いますけど、リハビリとして吹く分には違和感なく入れましたね。

最初に購入したのは ソプラノサックス用

粟生田 ただ、当時のレジェールは、クラリネット用よりも、ソプラノサックス用の「シグネチャー」というリードの方がクラリネットには合うと言われていて、僕も最初に購入したのはソプラノサックス用のシグネチャーでした。

——今でもお使いですよ。

粟生田 ええ。クラリネット用の「ヨーロピアンカット」と使い分けています。

——なぜソプラノサックス用がクラリネットに合うんでしょうか？

粟生田 それが、僕にはよく分からないんです(笑)。リードの幅が関係するかなと？
当時のレジェールのクラリネット用リードの幅は、普通のケーンのリードの幅と同じでした。ところが、ソプラノサックス用のリードはそれより幅が広いんですね。その後、クラリネット用にヨーロピアンカットが出て、これはソプラノサックス用と同じ幅になりました(写真左)。このリードの幅が何か関係しているかも知れない。



Bb クラリネット用ヨーロピアンカットと通常のケーンのリードの比較。幅はやや大きく、長さがやや短い。

——レジェールを本番で使い出したのは？

粟生田 最初は基礎練習などで使っていたんですが、東京吹奏楽団の「ジョイフルコンサート」というアンサンブルコンサートで初めて使ってみたら、「使えるー」と。仲間にも聴いてもらっても「ケーンとの違いが分からない」と言うんです。それで自信を深めて、本番でも積極的に使うようになりました。

——本番でもレジェールを使おうと思った積極的な理由は何かですか？

粟生田 単純なことで、レジェールより吹きやすいケーンのリードが見つからなかった(笑)。レジェールはとても反応が良い

栗生田直樹

●クラリネット奏者

Naoki Aouda

長野県出身。長野市立柳町中学校でクラリネットを始める。武蔵野音楽大学卒業。大学在学中に学内オーディションに合格し同大学管弦楽団とソリストとして共演。武蔵野音楽大学卒業演奏会・ヤマハ新人演奏会に出演。第17回宝塚ベガ音楽コンクール木管部門入選。第20回日本木管コンクールクラリネット部門入選。2008年に東京吹奏楽団に入団。2016年に東京芸術劇場で行われた東京吹奏楽団第63回定期演奏会でF.ティケリ『クラリネット協奏曲』のソリストを務めた。2017年にスリランカでコンサートとワークショップを開催。東京吹奏楽団ではアンサンブルユニット「TTT」、「B-men5」に所属。クラリネットを傳田高廣、山本正治、十亀正司の各氏に師事。室内楽を甲斐道雄氏に師事。現在、東京吹奏楽団・コンサーマスター。青島広志とブレイメン楽団・楽士。ピュッフェ・克蘭ボン契約講師。長野県小諸高校音楽科・神奈川県立相模原弥栄高等学校芸術科の各非常勤講師。





リードなんです。反応が悪いということ
はまずない。

もちろん、最高のケーンのリードと比べ
れば話は違いますが、そんなリードを手に入
れるのは不可能に近い。とにかく、自分
にとってレジエールより吹きやすいケー
ンのリードが無く、レジエールの方が良い
バフォーマンスが出来ると思ったんです。
——レジエールについて多くの人が、
「リードの質の平均値がケーンより高い」

と言いますね。

粟生田 そうなんです。ケーンの平均と
比べると良いリードが、いつも安定的に手
に入ります。

——レジエールによるリハビリの成果
はどうでしたか。

**ヨーロッパアンカットは高い音が出やすく、音もより
はつきりし、ソプラノサックス用はより柔らかめの音。**

手前がバスクラ用でテナーサックス用シグネチャーが多い。他は
B♭クラリネット用で、短いリードはソプラノサックス用シグネ
チャー、他はB♭クラリネット用ヨーロッパアンカット。

特定するにはやはり良かったと思います。

ヨーロッパアンカットと ソプラノ用シグネチャー

——クラリネット用のヨーロッパアンカ
ットはどんなリードですか？

粟生田 ソプラノサックス用のシグネチ
ヤーと比べると、ヨーロッパアンカットの方
が高い音が出やすい印象です。音の輪郭も
よりはつきりする。一方、ソプラノサック
ス用のシグネチャーは柔らかめの吹き心
地になり、コントロールがしやすい。どち
らもそれぞれの魅力がありますね。

——レジエールのクラリネット用には



「ヨーロッパアンカット」「シグネチャー」
それに「クラシック」の3タイプがありま
すね(他に「ジャーマンカット」もある)。
粟生田 全部一度は吹いているはずなん
ですけど、ヨーロッパアンカットが僕には一
番しっくり来たので、他の印象は覚えてま
せん、すみません(笑)。

——マウスピースは何をお使いです
か？

粟生田 バンドーレンのブラックダイヤ
モンドBD4、バンドーレンB40、それに
ヴィルシャー40Bの3つです。リードの番
手はバンドーレンV12の3から3半相当
で、レジエールもほぼ同じ番手を使ってい
ます。

——レジエールのリードは一時、「ニッ
ク(Nick)」のマウスピースと相性が良いと
言われてました。

粟生田 ニックとは確かに相性が良いん
ですよ。ただし、レジエールのリードはピ
ッチがやや低めで、倍音も明るめの倍音が
少なめですから、ニックと合わせると、そ
の傾向がより強まります。音程的には、そ
れぞれの一番「美味しい」部分では吹けな
いかも知れない。バンドーレンかヴィルシ
ヤーなどのマウスピースと組み合わせた
方が、そうした傾向は一番少
なくありますね。

——ヴィルシャーのマウス
ピースも音程が低めじゃあり
ませんか？

粟生田 僕が所有してるヴィ
ルシャーは、ニックほどその
傾向はなかったです。

——余談ですが、ブラック
ダイヤモンドはヴィルシャー
を意識して作られたような感
じが……。

粟生田 しますね(笑)。でも、



それを言えば、ヴィルシャー40Bはバンド1レンのB40系を意識しています。総称すれば、「40」タイプと呼んだったらいいでしょうか。そうした「40タイプ」のマウスピースと、レジェールのヨーロッパアンカットの相性は良いと思います。バックーンのマウスピースも相性は良さそうですね。

——バンド1レンの5RV系でレジェールを使っている人はいますか？

粟生田 どうでしょう？ 僕には分かりませんが、いずれにせよ、レジェールの場合は、中音域（スロート）の音程が低めに出来ないマウスピースを選んだ方がいいと思います。



バスクラには
テナーSAX用も合う！

——レジェールは長持ちする、変化しない、もう一つ、吹く前に舐めなくてよい（笑）。

粟生田 でも舐めちゃいますね、10年以上使っているも（笑）。変化について言えば、レジェールもやはり多少は変化します。吹奏楽のジャズっぽい曲で高い音を出し続けるとか、調子に乗ってグロウなんかやるとリードが疲れてくる。ソプラノ用シグネチャーはクラリネット用よりもその傾向が強いと思います。

そうは言っても、このリード（ケースに入っている一枚を指差して）なんか10年前

の物なのに、まだ使えますよ。

——リード代が大幅に節約できる？

粟生田 それが……結構なベースでレジェールを買っているの、ケーンとあまり変わらないと言うか（笑）。平均、月に3枚くらいは購入しますから。レジェールの中にも、やはり個体差はあります。ケーンと比べれば全然少ないですけど。

——バスクラリネットでもレジェール

を使われていますね。

粟生田 バスクラリネットではレジェールを使う方は特に多いと思います。バスクラリネットではB40系のマウスピースを使う人が多いからかも知れません。僕の場合、バスクラリネットではテナーサクスの用、レジェールを使うことが多いです。

——あ、そうなんです、テナーサクス用を！

粟生田 音がより柔らかくなるんですよ。

パワフルに吹きたいときはバスクラリネット用（3番）を使い、普通に柔軟に吹き

たいときはテナーサクス用（3半）を使っています。



高校時代の古楽器体験で
リードの幅が広がった

——レジェールを使う前は、どんなセッティングだったのですか？

粟生田 20代の頃は硬めのリードで吹いてました。コントロールを重視するようになってから、徐々にリードを軽めにして行った。その過程と、レジェールとの出会い

バスクラでパワフルに吹きたい時はクラリネット
用、柔軟に吹きたい時はテナーサクス用を……



「レジェールはピッチが低めなので、スクールバンドの子供たちがケーンのリードと一緒に吹く場合は注意が必要かも知れません。自分のマウスピースでピッチがどうなるかを一度調べた方がいいと思います」



が重なった気がします。「軽め」と言っても平均よりはまだ硬めかも知れませんが。マウスピースは最初からB40でした。

——B40に硬めのリードで？

粟生田 ええ。高校時代に習った傳田高廣先生は古楽器も演奏される方で、リードを削られる方なんです。B40に4番のリードとかを持って行くと、先生がレッスンで削って下さる。硬めの密度の高い音が出るリードを、削って合わせていくというやり方ですね。自分でもナイフや紙ヤスリで調整していました。ただ、仕事をするようになるといろんなコントロールが要求されるようになり、そこから傾向が変わって行きました。

——粟生田さんも古楽器を吹かれるん

ですか？

粟生田 C管の古楽器を持っていますが、今はあまり吹いていません。高校時代に傳田先生とコンサートでルソンのデュエットを古楽器で吹かせてもらった事があります。古楽器の薄いリードで吹く感じも嫌いじゃないんです。傳田先生に古楽器を吹かせてもらったりしたことでもリードに対する考え方の幅が広がり、レジェールにも違和感が無かったのかも知れません。5年ほど前、傳田先生とシャリユモーでトリオをやった時は、バスシャリユモーにレジェールを付けて吹きました。

——吹奏楽、オーケストラ、ジャズ、民族音楽、古楽と粟生田さんの興味のあるジャンルは幅広いですね。

天然のケーンを模造しようとするのではなく、新しいリードを作ろうとしているのが魅力！

粟生田 2005年に東京で国際クラリネットフェスティバルがあったとき、世界には僕の想像を超えたいろんなタイプのクラリネット奏者がいるのを目の当たりにして、「クラリネットでも何でも吹けるようになりたい」という欲が出たのを覚えています。

——東京吹奏楽団ではアンサンブルでも盛んに活動していらっしゃる。

粟生田 フルート、クラリネット、サククスをメインにピアノが入ったりする「TTT」(東吹・楽しい・トリオ)というユニットで活動したり、バリトンサククス(&アルトサククス)、バスクラ(&クラリネット)、テューバ、ドラム、ピアノの低音ユニットで活動したり……。後者のユニットのレパートリーにはデキシラン、ドジャズやクレズマ、音楽などがあり、レジェールだと、もの凄く吹きやすいですね。

——音を動かしやすい？

粟生田 動かしやすいです。音をペンドさせる時などすごくやりやすい。ケーンだと、グリッサンドする時に途中で引っかけたりすることがあ

りますが、レジェールにはそうした引っかけがない。

——その意味でも、新しいタイプのリードかも知れませんか。

粟生田 レジェールの魅力は、僕が考えるに、今までにない独自のリードを完成させようとしていることにあると思うんですよ。今までいろんな合成樹脂のリードが作られましたが、天然のケーンに近づけようと努力したリードは、なぜか上手く行かなかった気がします。レジェールは、新しい音というか、プレイヤーをもっと自由にさせてくれる新しいリードを狙っている。ケーンに近い音、と言うより、新しく魅力のあるクラリネットの音を作ろうと考えているような。

——その音を形容するとしたら？

粟生田 「自由な音」でしょうかね。レジェールを使うと、より自由になれる可能性が高い。自分のイメージを音にする可能性が広がりますね。

ソプラノサククス用
シグネチャー



レジェール・リード (※価格は税込)

●Bbクラリネット用

ヨーロピアンカット ¥4,950 シグネチャー ¥4,400

クラシック ¥3,300 ジャーマンカット ¥3,300

●バスクラリネット用

ヨーロピアンカット ¥5,060 シグネチャー ¥4,840

クラシック ¥3,630

●ソプラノサククス用

シグネチャー ¥4,400 クラシック ¥3,300

●テナーサククス用

シグネチャー ¥4,730 アメリカーナカット ¥4,950

クラシック ¥3,520 スタジオカット ¥3,520

クラリネット用：下左からヨーロピアンカット、シグネチャー、クラシック。

